

## 「当科で経験した80歳以上胃癌手術患者についての検討」について

加古川中央市民病院外科では、現在、80歳以上の胃癌患者さんを対象に表題の研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

### 【研究概要及び利用目的】

この研究は、80歳以上の胃癌患者さんを対象に、手術による治療の効果や安全性について調べることを目的としています。近年、高齢化が進み、高齢の胃癌患者さんは増えていきます。しかし、高齢の方では体力や合併症などの問題があるため、手術を行うかどうか、どのような手術が適切か、慎重に判断する必要があります。この研究では、過去に当院で手術を受けた80歳以上の胃癌患者さんのデータを分析することで、高齢者の胃癌手術の現状を把握し、今後の治療の参考にすることを目指しています。

### 【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院病院長承認日～ 2025年 10月 31日

### 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

以下の情報を、80歳以上の胃癌患者さんの診療記録や手術記録から取得します。

- 性別、年齢：年齢層別の分析（80-84歳、85-89歳、90歳以上）を行うために調べます。
- 受けた手術の種類：幽門側胃切除、胃全摘、噴門側胃切除などの手術方法を調べます。
- リンパ節の切除範囲：ガイドラインで推奨されるリンパ節郭清度と実際に行ったリンパ節郭清度を比較し、適切なリンパ節切除が行われたかを調べます。
- がんの進行度：病期を分析することで、手術の難易度や予後との関連性を調べます。
- 手術後の合併症：合併症の種類や程度（CD分類）を分析し、手術の安全性を調べます。
- 入院期間：術後の回復状況を把握するために入院期間を調べます。
- がんの再発の有無：手術の長期的な効果を評価するためにがんの再発の有無を調べます。
- 生存期間：手術後の生存期間を分析し、年齢や手術方法、合併症などとの関連性を調べます。

### 【個人情報保護の方法】

この研究では、患者さんのプライバシー保護に最大限配慮し、取得したデータは、個人が特定できない形に匿名化した上で、研究対象者識別番号リストを作成し、鍵のかかる診療部内のロッカーに保管します。

研究対象者識別番号リストとは、匿名化されたデータと患者さんの個人情報を結びつけるためのリストです。このリストは、研究責任者のみがアクセスできる場所に保管され、個人情報は外部機関へ提供することはありません。

研究結果は研究対象者個人が識別されないようにして学会発表を行う場合があります。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

**[試料・情報等の保存・管理責任者]**

加古川中央市民病院 外科 責任者氏名：服部 寛之

**[データおよび試料提供による利益・不利益]**

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録から観察項目のデータのみを利用するため特にありません。

**[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]**

情報は研究責任者が診療部内の鍵のかかるロッカーで保管し、将来的な研究への活用などの可能性を考慮し、3年間保管した後、電子データの場合は完全に削除し、紙媒体の場合はシュレッダーにかけると、復元不可能な方法で廃棄致します。

**[研究成果の公表について]**

研究成果は患者さんに対して公表する予定はなく、学会発表等で公表する予定です。

その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

研究結果についてお知りになりたい場合は、下記の責任者までご連絡頂けますとご対応致します。

**[研究へのデータ使用の同意辞退]**

この研究へのデータ提供を希望されない場合は、ご自身の意思でいつでも参加を辞退することができますので、下記【問い合わせ窓口】まで連絡先までご連絡ください。研究参加を辞退されても、患者さんへの不利益は一切ありませんのでご安心ください。辞退の申し出を受けた場合、それ以降患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかし、同意を辞退された時点ですでに研究成果が論文や学会発表で公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承願います。

**[問い合わせ窓口]**

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 外科  
研究責任者名 服部 寛之  
連絡先：079-451-5500